

令和5年度神栖市地域医療体制に係る意見交換会 サマリー

1. 日時・場所 令和5年5月23日（火）19:00～20:48
神栖市役所3階 301会議室
2. 出席者 出席者 19人 随行者 11人 神栖市12人 （別紙名簿のとおり）

3. 委員会結果

議事に先立ち、石田進市長から挨拶があり、事務局から委員紹介が行われた。
続いて、事務局から次の事項が報告された。

- 事項1 市内の医療の現状と取組状況について
 - (1) データから見る市の医療情勢
 - (2) 第3次神栖市総合計画について
 - (3) 国、県の医療政策等の動向について
 - (4) 企業・医療機関・行政連絡調整会議について
 - (5) 在宅医療の推進に係る病診連携について
 - (6) 医療教育の実施について
- 事項2 新型コロナウイルス感染症対策について
- 事項3 高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定について

報告の後、茨城県立中央病院 永井 秀雄 名誉院長が座長を務め、意見交換が行われた。

4 意見交換の内容

(1) 市民の健康意識の醸成について

- ・急性心筋梗塞・脳梗塞・がんによる市民の死亡率が全国より高いことが報告された。また、がん検診の一部無料化や講演会・地域食育サポーターによる啓発活動の他、特に時間を争う循環器疾患の救急搬送体制整備の市の取組みが紹介され、出席者からはこれらの取組みを継続するとともに、疾病に対する理解を深めてもらうため市民の健康意識の醸成に努めることが重要との提言がなされた。
- ・さらに、診療所からは、疾病の早期発見や病気予防に向けて様々な健診機会での受診促進や受診後のフォロー体制の充実に貢献していきたいとの姿勢が示された。

(2) 医師派遣要請について

- ・県内の医師派遣調整は、医療法に基づき設置された地域医療対策協議会を通じて医科大学等に医師派遣要請を行っており、令和4年度の医師派遣要望の結果、市内医療機関への医師派遣は実現しなかったことが報告された。これに対して出席者からは、医師派遣の実現に向けて、各医療機関が派遣元の医科大学が求める医師の教育研修環境の向上や、現在赴任している医師にやりがいを感じてもらうための診療体制づくりに取り組んでいる旨の情報提供がなされた。
- ・また、医師派遣の実現の難しさを再認識する声がある一方で、今後も熱意を持って医師派遣の要

請に取り組むことが肝要であるとの意見があった。

(3) 新型コロナワクチン接種について

- ・事務局から、新型コロナワクチンの接種状況や今後の計画が報告された。出席者からは、副反応を理由にワクチン接種を受けない方が一定数いるということに触れ、国民の不安を煽ることなく正しい情報を提供することや、医療者側もワクチンへの理解を深めることについての課題認識が示された。
- ・また、薬剤師の立場からワクチン接種の推進に協力していきたい旨の意見があった。

(4) 医療教育について

- ・医療への関心を高め、健康意識や弱者を思いやるこころの涵養を図ることを目的に、令和4年度から小・中学校を対象とした医療教育を開始したことが報告された。医療教育に参加した出席者からは、この取組みに手応えを感じたことや、令和5年度からは薬剤師などの多職種が連携して取組みを広げていきたい旨の意見があった。

(5) 労災救急受入推進に係る熱傷・薬傷症例検討会について

- ・企業から労災救急受入体制を検討してほしい旨の要請を受けて、特に市内受入体制が脆弱な「熱傷・薬傷」について軽症患者やファーストタッチの診療を学ぶため、令和5年度に熱傷・薬傷症例検討会を開催することが報告された。出席者からは、医療体制に関する企業からの要望（企業が求める診療科・医療分野）は、神栖市ならではの貴重な御意見なので、関係機関で共有しながら取組みを継続することが重要との意見があった。
- ・また、皮フ科内科クリヤマクリニックから、火傷やケガの急患については診療予約をしなくても直ぐに対応できる旨の情報提供がなされた。

(6) 病診連携に係る在宅患者情報の共有について

- ・在宅医療推進に向けた病診連携の一環として、白十字総合病院と市内2つの診療所（かみす中央メディカルクリニック、にへいなかよしクリニック）が在宅患者の情報を共有し、容体急変時の円滑な入院受入体制の構築に取り組んでいることが報告された。白十字総合病院から、今後も市内の診療所と積極的に連携強化を図る姿勢が示され、診療所からはこの取組みに期待する声があった。

(7) その他

- ・消防本部から、救急受入に対する関係機関の理解と協力について感謝の意が示された。また、昨年末のコロナ第8波で多発した救急搬送困難事案※の発生数は現在抑えられているとの報告がなされた。※救急隊による「医療機関への受入れ照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案
- ・出席者からの市の教育環境向上や少子化対策への期待が示されたことを受けて、石田市長から子育て日本一プランや魅力あるまちづくりへの取組み状況が報告された。
- ・歯科医師会から、口腔ケアの重要性と医科歯科連携への期待が示された。

以上

(別紙名簿)

○出席者

(順不同、敬称略)

No	所属等名	役職名	氏名
1	茨城県立中央病院	名誉院長	永井 秀雄
2	鹿島医師会神栖支部	支部長	武藤 隆雄
3	神栖市歯科医師会	会長	鈴木 伸之
4	潮来薬剤師会	会長	井上 剛
5	神栖済生会病院	院長代行	長野 具雄
6	白十字総合病院	院長	鈴木 善作
7	かしまなだ診療所	理事長	五木田 道明
8	鹿嶋ハートクリニック	理事長	大城 恬瑩
9	かみす消化器内視鏡クリニック	院長	坂田 義則
10	かみす中央メディカルクリニック	院長	長島 英一
11	済生会土合クリニック	所長	田中 久巳彦
12	済生会波崎診療所	所長	花岡 大資
13	しょうのこどもクリニック	院長	庄野 哲夫
14	東部地区健康管理クリニック	支部長	植竹 利明
15	永木外科胃腸科医院	院長	永木 弘和
16	にへいなかよしクリニック	院長	二瓶 実
17	皮フ科内科クリヤマクリニック	院長	栗山 源慎
18	神栖産業医トレーニングセンター	統括指導医	田中 完
19	鹿島地方事務組合消防本部	消防長	武藤 隆

○随行者

No	所属等名	役職名	氏名
1	神栖済生会病院	副院長兼事務部長	田村 照悟
2	白十字総合病院	事務部長	磯部 晃彦
3	かしまなだ診療所	事務長	五木田 みか
4	鹿嶋ハートクリニック	事務長	鈴木 清隆
5	かみす消化器内視鏡クリニック	事務長	池原 千恵
6	かみす中央メディカルクリニック	事務長	杉本 巖
7	東部地区健康管理クリニック	事務長	田所 久則
8	にへいなかよしクリニック	事務長補佐	金本 祐紀
9	神栖産業医トレーニングセンター	センター長	林 卓哉
10	鹿島地方事務組合消防本部	救急救助課長	岩瀬 伸一
11	鹿島地方事務組合消防本部	救急救助課長補佐	西宮 哲之

○神栖市

No	所属等名	役職名	氏名
1	神栖市	市長	石田 進
2	神栖市	市長公室長	加瀬 能孝
3	神栖市	福祉部長	高安 桂一
4	神栖市	健康増進部長	大滝 紀子
5	神栖市	医療対策監	藤枝 昭司
6	地域医療推進課	課長	吉川 徹
7	地域医療推進課	課長補佐	徳永 真砂美
8	地域医療推進課	主査	梅原 尚子
9	地域医療推進課	係長	山澤 翼
10	地域医療推進課	係長	伊勢崎 亮
11	地域医療推進課	主幹	岩瀬 夏実
12	地域医療推進課	主事	胡田 大介